

「畑地農業」執筆要領

1. 原稿の性格

「畑地農業」は、畑地農業を主体に、その周辺分野に関する施策、技術、学術の向上、発展に寄与すると認められるものとし、かつ、読者相互の啓蒙及び意思疎通を図ることができるものとする。

2. 原稿の区分

次を基本とし、原稿の内容によっては編集委員会において区分を変更する場合がある。

- (1) 叢論：幅広い視点からの意見・提案等について。
- (2) 報文：畑地農業に関する行政施策、技術、研究等に関する紹介、論説、報告等。
- (3) 情報：技術開発、調査結果、事例紹介、研究成果等に関する情報。
- (4) 研究論文：研究動向、調査・研究成果等。既発表のものも本誌読者用に編集し直したものであれば可能。要旨及びキーワード(英語の **Abstract** 記載は任意)を記述する。関係分野の専門家2名による査読を行う。
- (5) その他：講座、海外関係、振興会だより、広告等。

3. 原稿の様式

- (1) 投稿原稿は、そのまま印刷する原稿となることを基本とするが、事務局で編集することがある。原稿提出はワープロソフト (Word2003 以上、一太郎 Ver. 12 以上) で作成し、事務局へは原則として e-mail で送稿する。
- (2) B5 タテ、二段組、1 頁当たり行数 42 行、1 行当たり文字数 21×2 (1 頁は図表込みで 1,680 字)、文字フォント 9 ポイント、明朝体とする。
- (3) 投稿原稿は刷り上がり 20 ページを超えないことを基本とする。
- (4) 書式

1) 表題・著者名・所属・連絡先住所

2) 研究論文については、要旨 (和文 300 字程度及び文末に改行して「キーワード:」と記し 5～7 語を記す) を記載する。

また、英文 abstract の記載は任意とするが、記載する場合は和文末に、英文表題、ローマ字表記の著者氏名、及び英語表記の著者所属署名を含む。Abstract 本文は、250words 程度とする。なお、文末に改行して [Keywords:] と記し、日本語のキーワードに順序に対応させて、英語のキーワードを記載する。

3) 本文

本文には、図、表、写真、式、脚注、付録、謝辞、引用文献を含む。

4) 引用文献は、記事本文中に括弧で著者氏名と西暦年を記入し、最後のページに発行年の古い順に 著者氏名：雑誌名、巻数、号数、掲載ページ、発行年 を記載する。

例 本文中： (三野、2004)

引用文献の表示：三野徹：環境保全を重視する農業政策の展開、農業土木学会誌 72(11), 1-2, 2004

- 5) 図、表、写真はそれぞれ所定の場所に貼り付け鮮明なものを作成する。その表題にはそれぞれ通し番号をつける。
- 6) 単位は、国際単位系 (SI 単位) を基本とする。ただし、従来単位系も可能とする。
- 7) 本文の章・節・項の見出しは、下記による。
章 I., II., III.
節 1., 2., 3.
項 1), 2), 3)
- 8) 脚注は、*, **, の記号で示し、原稿の最下欄に記載する。

4. 原稿の送付先

- 1) 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル
一般社団法人 畑地農業振興会 「畑地農業」担当
e-mail : sr-hataasin@xui.biglobe.ne.jp
- 2) 原稿の受付は本会に到着した日とする。原稿は発行の前月の 15 日までに送稿するものとする。ただし、研究論文は、前月の 5 日までに送稿し、研究論文である旨を明示する。
- 3) 原稿受付後は、編集委員が目を通し、修正、加筆、削除を依頼することがある。著者による校正は原則として行わない。ただし、研究論文については、関係分野の専門家 2 名の査読後の受稿とする。

5. 原稿料

本会の規定により、掲載後原稿料を支払う。ただし、研究論文については支払わない。

6. 掲載された記事の著作権

受付年月日から本会に帰属する。